

ご近所のお医者さん

□
670
□

井上病院副院長

谷村信宏さん

—吹田市

2月10日はフットケアの日

2月10日は日本フットケア学会の日本下肢救済・足病学会(現日本フットケア・足病医学会)などが制定し、本記念日協会により認定・登録された「フットケアの日」でした。「フ(2)ット(10)足」の語呂合わせから、各地でイベントが開催されました。

可能性があり、下肢切断となる人は年間1万人以上といわれています。足を切断し歩行できないということは、体全体の機能損失だけでなく、その方の気力または生命そのものを奪うことでもある重大な問題です。

「歩ける」って大切

はこういった病気になるための予防的フ

「足病」とは「起立・歩行に影響する脚の形・機能障害や感染に伴う変形」などと定義される、糖尿病や動脈硬化による神経や血流の障害に伴う足の病気です。重症化すると足を切断す

米国には医師・歯科医と同列に「足病」に対応する「足病医(podiatrist)」がいますが、日本にはそのような専門職がないため、患者さんも受診科が分からず、血管外科・整形外科・皮膚科・循環器内科などさまざまな診療科で対応されています。

日本フットケア・足病医学会のホームページに、「歩行を守る」ために積極的に活動している病院のリスト(https://fcpm.org/link_hospital.html)があります。ぜひ参考にして

「足を守る」とは足を切らないことだと思われるかもしれませんが、最も大切なことは「歩行を守る」ことです。場合によっては足がある程度切断して

も歩ける足を守るために、ご自分の足を大切にかわいがってあげましょう。

も、義足や装具などを用いて歩行を維持させることも考慮されます。「歩行を守る」ためにはさまざまな介入が必要です。糖尿病や血圧などの内科的コントロール、血流を維持させるカテーテル治療や血管をつなぐ手術、感染をコントロールする抗菌剤投与や感染部分の切除、足部切除後の装具・義足やリハビリテーション、更に

